

創刊のご挨拶



広報活動の充実で組織を活性化

沖縄県設備設計事務所協会

会長 平良 保

待望の広報誌「建築設備」の創刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

ご高承のように、県内の建築業界は、復帰後25年余の間、全国的な技術革新のもとで技術の研鑽を積み重ね、相応の成果をあげてまいりました。とりわけ建築設備の分野では、日進月歩の社会的ニーズに応えるため、先進技術の導入に日夜努力し、県民の生活レベルアップに寄与しております。とくに最近では快適な生活環境へのニーズの高まりに加えて、人にやさしい地球環境への対応が協調され、建築設備技術の重要性がクローズアップされております。設備技術に直接携わる私ども業界にとって正念場の時期にきているとの感を深くしております。

当協会では、県内唯一の建築設備技術者の集団として、会員が一致協力して社会の要請に応えるべく、業界の充実・強化と組織内の和をはかっておりますが、そうした地道な活動を継続し、成果をあげるには会員間の技術の交流はもとより、設備に関する一般社会への認識と地域社会への貢献度をさらに高めることが、協会に課せられた緊急な課題であると考えております。そうした視点に立って、過年度から今後の広報活動への取り組み等について協議を重ねてきましたが、このたび当協会の広報誌「建築設備」を創刊し、設備技術の一般への理解と会員相互の連携を深めていくことにいたしました。

今、私達は、前記のほかに、地球規模での資源問題、環境問題、産業廃棄物問題といった、難しい問題もかかえておりまして、各国は共通の課題として、この問題に取り組んでおります。私達は設備という分野をとおして、これらの問題にも積極的に参加し、官民一体の協力の中で、微力を尽くしていきたいと思っております。その為にもこの広報誌が業界の情報交換や研究発表の場として広く活用されることを願い、内容の充実に力を入れていきたいと思っております。今後とも、関係各位のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人 沖縄県設備設計事務所協会